

\\ しもやまの魅力や地域の活動を **知って** **届けて** **広めよう** //

# WE しもやま LOVE



## ラリージャパン三河湖SSが盛大に開催されました！



11月18日（土）、世界ラリー選手権（WRC）フォーラムエイト・ラリージャパン2023が三河湖周辺で開催されました。羽布町に設けられた観戦エリアには、国内外から約2,000人もの観戦者が訪れ、下山地区の田園風景の中を疾走するラリーカーを応援しました。

当日は、しもやまラリー実行委員会及びボランティアスタッフが中心となり、イベントステージや啓発物配布などのおもてなしを実施しました。（詳細は次号で紹介）

また、観戦エリア内では下山地区の事業所6店舗が出店し、観戦者は下山の名物「五平餅」などを味わいました。

今回、WRCでの「おもてなし」を通じて、下山地区の魅力を大いに発信することができました。

御協力いただいた皆さま、ありがとうございました！

### 【下山住民みんなでWRCを応援！】

11月17日（金）の下山支所前などのリエゾン応援では、住民の皆様やボランティア活動で訪れていたトヨタ工業学園の生徒さん、約300人が選手をお出迎えして応援しました。

また、11月18日（土）のパブリックビューイングでは、住民の皆様が参加し、三河湖SSの生中継を観戦して応援しました。下山在住ラードライバーのホン ミンウィ（愛称：ミンミン）さんが解説をしてくれました。



▲リエゾン応援の様子



▲ドローンから医療品を取り出す様子

### 【WRCの裏側で、ドローンを使った医療物資の往復輸送実証を実施】

今回の三河湖SSでは、愛知県が行うあいちモビリティイノベーションプロジェクト「空と道がつながる愛知モデル2030」及び豊田市つながる社会実証推進協議会の取組の一環として、企業、医療関係者などと連携し、ドローンを使い、三河湖SS付近に設置した医療用コンテナへ不足した医療品等の補充と廃棄物の回収の実証実験を行いました。競技だけでなく、最先端技術の実証の場所として、下山地区が注目を浴びています。



## わくわく事業の紹介 想家（おもや）PROJECT

### ●想家PROJECT（代表：木下 貴晴）

「空き家を憩いの場・交流の場にしたい」そんな想いを実現するため、地元住民が立ち上がり、結成した有志団体です。

下山地区の課題である「空き家問題」。空き家をそのままにしておくと、家屋の老朽化による倒壊や生活衛生面の悪化など、近隣住民の生活環境に大きな影響を与えてしまいます。

その課題を解決するための第一歩として、とある空き家を修繕してみんなが有効活用できるコミュニティスペース「想家（おもや）」を立ち上げることで、地域のための憩いの場、そして、訪れる方々のための交流の場として、皆さんの新しい居場所をつくりだそうと考えています。

まず最初に、敷地内にある田んぼを復活させて、田植えから稲刈りまでを行いました。10月には新米試食会を開催し、参加した方々に、自分たちで製作した釜戸で炊いたおいしいミネアサヒをふるまうことができました。

そして、11月から3月にかけて、空き家修繕ワークショップを実施し、参加される皆さんと老朽化した畳などをはがして床板を取り付ける作業を予定しています。参加したい方、様子を見に来たい方は、ぜひ遊びに来てください。

老若男女、すべての世代がお互いを“想”える“家”にしたい。それが“想家（おもや）PROJECT”です。



▲想家全体の写真



▲稲刈りしたときの様子



▲新米試食会の様子



## 令和6年度わくわく事業募集のお知らせ

令和6年度わくわく事業の募集期間は以下のとおりです。

【受付期間】 **令和5年12月11日（月）～令和6年1月31日（水）**

【受付時間】 午前8時30分～午後5時15分（平日のみ）

【受付場所】 下山支所 地域振興担当

【令和5年度からの変更点】

地域会議から提言を受けた地域課題解決事業について、実践者を広く地域から募集する新たな試み「**テーマ設定型わくわく事業**」を始めます。

【支所担当者から】

申請書類の書き方など、事前相談を受け付けております。

E-mailやお電話でも、お問合せ可能ですのでお気軽にどうぞ！



▲詳細は、豊田市ホームページ「下山地区わくわく事業」をご確認ください



～ 三河湖の自然と音楽に癒されて ～  
湖と森の音楽会in三河湖園地を開催



紅葉が始まりかけた羽布町の三河湖園地で、2週にわたり「湖と森の音楽会in三河湖園地」を開催しました。このイベントは森の中で流れる音楽を聴きながら心身を休めてもらおうと企画しました。

1週目は10月28日(土)。前日の雨が上がり三河湖の湖面には霧が立ち込め幻想的な雰囲気の中、フィドル奏者の小松大さんとアイリッシュハーブ奏者の大橋志麻さんのユニット「glas」によるアイルランド音楽演奏会を開催。

木漏れ日に当たり金色に輝く楓の葉と青空の背景、時折り吹く風が森の中で聴くアイルランド音楽の気取らない雰囲気とマッチし、リラックスして演奏を楽しみました。

2週目は11月4日(土)、秋晴れの心地よい土曜日の午後、豊田市出身の谷口沙和さんと高校、大学の同級生の日比ありささんの若手演奏家によるヴァイオリン演奏会が開催されました。2人の綺麗で優しいヴァイオリンの二重奏が三河湖の森に反響し、観客を魅了しました。

観客からは「音楽と自然がとけあっていて、今までにない体験が出来た」「季節のよさ、環境のよさ、演奏者の素晴らしさを体感させてもらいました」「とても贅沢で貴重な時間でした。家族全員幸せな気持ちになれました」といった感想をお聞きし、「湖と森」が持つ自然の力と音楽がシンクロするとこんなにも人の心を豊かにしてくれると実感しました。



▲glasのおふたり



▲谷口さん(左)と日比さん(右)



▲思い思いのスタイルでゆったりした時間を楽しむ来場者



▲2日間で110人を超える方にお越しいただきました



はしご車とドクターヘリを使った消防訓練を実施



10月28日(土)、消防本部 下山出張所は、トヨタテクニカルセンター下山で、はしご車やドクターヘリなどが参加する消防訓練を実施しました。

敷地内で火災が発生したことを想定し、はしご車での傷病者の救出や、傷病者をドクターヘリに引き継ぐなどの訓練を、トヨタテクニカルセンター下山の保安消防隊、看護師を交えて、行いました。

また今年度新たに、ドクターヘリ臨時着陸場がトヨタテクニカルセンター下山の敷地内に3か所登録されました。

【記事】豊田市 消防本部 足助消防署下山出張所



## 下山の自然あれこれ「⑥下山地区の大木」

榧、この漢字の読み方を皆さんご存じですか？

ヒントは、木の名前。高さ20mにもなる常緑の針葉樹で、かつては農家の庭先や社寺の境内に植られた……。

答えは「カヤ」です。

カヤは、下山地区でもなじみの深い木で、この地区の里山を歩くと時々見つけることができます。中には、市文化財（天然記念物）に指定されている立派な大木もあり、東大林町の洞泉寺横にあるカヤ、羽布町の県道付近の私有地にあるカヤ、小松野町の日月神社付近の私有地にあるカヤの3本がそれです。今回、東大林町のカヤを訪ねてみました。

東大林町の大カヤは、どーんと大きな存在感で、お寺本堂の横に屹立（きつりつ）していました。その太さ1m、高さ18m程度。この木の枝葉は南側市道のオープン・スペースに向かって伸びやかに広がり、大きな樹冠を形成しています。幹からの枝先までの距離が10mもある太い枝もあり、それらは枝先が重いのか、スケートのイナバウアーのように枝が反り下がる形をしていました。枝先まで緑色の苔がびっしりと付いて、山間地域で、長い歳月を積み重ねてきた老木の雰囲気感を漂わせています。近くの里山で、皆さんもカヤの木を探してみてください。



▲東大林町のカヤの大木



▲カヤの木の葉。触ると痛い。



## 連載コラム「せつつが行く！ Vol.7」 【関係人口づくりを支える地元の力】



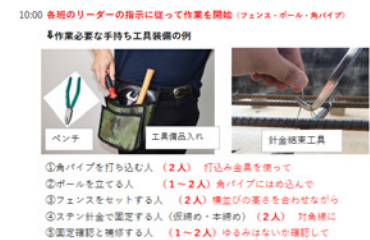
これまでトヨタ工業学園など地区外からの受入れについて記事を書いてきましたが、今回は受入れを支える地元の皆様をフォーカスしたいと思います。

下山地区では関係人口づくりの一環として、多くの企業や個人の方に地域の運営や活動に携わっていただいています。トヨタ工業学園の受入れを一例にあげると、地元の方々には、活動当日の地元支援者の手配、活動場所の選定、作業内容の精査と担当決めなど、1ヵ月以上前から入念に計画、調整を行います。作業内容によっては、現地を見たことがない学園生が作業をイメージしやすいように作業内容のイメージ図や作業手順書を作成し、受入れ体制を整えます。活動の数日前に、枝切りや草刈りなど農機が使えない学園生が手作業できるまで下準備を行う場合もあります。その間、学園生は当日の作業安全、活動に臨む心構え、ゴールイメージの共有などが図られ当日を迎えます。活動中は地元の方が道具の使い方や作業のコツを教え、作業後には次に使う人のために道具の手入れまで、1日を通して学園生の成長を見守りつつ一緒に作業を進めます。そして、夕方には顔の見える関係性ができ、対等な仲間（地域の一人）として地域に受け入れられていきます。

地区外から来られる方が、地域貢献活動にスムーズに入っていける背景にはこのように入念な準備、段取りなど“地元の力”があることを忘れてはなりません。



▲区長さん手書きの完成イメージ図



▲慣れない作業は手順書を作成



▲安全を最優先に手順を説明



## しもやまをもっと好きになってもらうために

10月29日（日）に行われたしもやまスマイルフェスタで、地域の魅力の再発見と愛着の形成を目的に、7自治区の今と昔の魅力をモチーフにした顔出しパネルを作成しました。

地元作家のなかむらひろこさんがイラストを手がけ、スマイルフェスタ中もパフォーマンスとして作画を公開し、閉会式でお披露目しました。パネルは、下山支所ロビーに展示していますので、ぜひ顔を入れて写真を撮ってみてください！



## 令和5年分 確定申告に関するお知らせ

確定申告書の作成、提出は、計算誤りの防止のためにも、自宅のパソコンやスマートフォンでご利用いただける「確定申告書等作成コーナー（国税庁ホームページ）」が大変便利です。

各地区の無料税務相談所は、LINEまたは電話による事前予約制（先着順）のため、定員になり次第、締め切りとなります。また、**下山支所では、確定申告の相談、受付はできません。**

詳しい日程や予約方法は、「広報とよた1月号」または豊田市ホームページをご覧ください。

	LINE予約	電話予約
受付開始	令和6年1月10日（水）午前9時から	令和6年1月15日（月）以降で、会場ごとに設定された予約受付日時
受付方法	次の手順で予約 ①豊田市LINE公式アカウントを友だちに追加 ②「広報とよた1月号」に掲載されている二次元コードを読み取り、予約	豊田市 市民税課に電話 ☎0565-34-6617

※いずれの予約方法も定員になり次第、締め切り

### 下山地区データ

人口  
4,018 人  
(-129)

男性  
1,996 人  
(-67)

女性  
2,022 人  
(-62)

(11月1日現在)  
※（ ）は前年同月比  
 世帯数  
1,634 世帯  
(-27)

### 発行者情報

編集・発行

豊田市役所下山支所（〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1）  
毎月15日発行

お問い合わせ

TEL 0565-90-2111 FAX 0565-90-3344

MAIL shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp

地域記者を募集中！あなたの伝えたい地域情報を掲載しませんか！





【社協下山支所だより】

# まどいの丘



住所：豊田市神殿町中切7番地2

TEL:0565-90-4005 / FAX:0565-90-2419 / MAIL:shimoyama@toyota-shakyo.jp

身体も心も元気で暮らす



## 赤い羽根共同募金

下山地区共同募金委員会では、地域住民が住み慣れた地域でいつまでも健やかに安心して過ごせるように、共同募金を活用して様々な事業（高齢者のこと、子育て世代のこと、災害時のこと、地域福祉のこと etc...）を行っています。

運動期間中は市内の赤い羽根協力店（7か所）、下山交流館に設置する募金箱や、下山保健福祉センター（まどいの丘）の窓口にて募金を受け付けます。お寄せいただいた募金は地域のために大切に活用させていただきます。みなさまのあたたかいご協力をよろしくお願いいたします。



「わがマチキャラバッチ」ガチャを導入しました！  
今年度より豊田市共同募金員会では共同募金の理解促進のために、五平マンをはじめとした市内のキャラクターのカンバッチを導入し各種イベント時等に設置をしています。購入費の一部が共同募金に充てられており、大人から子どもまで幅広い世代の方に募金を身近に感じて協力いただきやすいようにしました。今後もイベント等の際に設置をしていきますのでご協力お願いいたします。



## ～おいでんクラブ運動会～



カラーボーリング



玉入れ



玉子リレー



じゃんけん



「まどいの丘おいでんクラブ」

毎週火曜日から金曜日に、体操や創作活動、おやつ作りなど短時間の通所サービスです。

今年度初めて、曜日別対抗の運動会を開催しました。各曜日優勝を目指して力が入る熱戦と応援が繰り広げられ、競技に参加される方も応援される方も楽しい1日を過ごされました。初の試みでしたがこのような行事にまた参加したいとの声もありました。地域の方との交流の場として、輪を広げて行きたいと考えています。是非 おいでん!!

【連絡先】まどいの丘おいでんクラブ

担当：古田 TEL90-4005



▲開会式

## 10/29 しもやまスマイルフェスタ

多くのご来場ありがとうございました



▲芸能



▲中学生ボランティア



▲ポニー福元

▲Village Fan's Co.



▲こども商店街



▲販売



▲こども園ダンス



▲展示



▲体験

## 講座報告

11/11

### ラリー講座 mission② なりきり コ・ドライバー!

参加 23人

現役のコ・ドライバー 安藤裕一選手を講師に  
迎え、ラリーに必須のコマ図について学びました。

各グループで下山の名所までのコマ図を作り、  
実際にたどり着けるのかチャレンジしました。



11/11

### トヨタテストコース見学会

参加 349人



テストコースの第1、第3周回路をバスで見  
学し、バンクを歩いて38度の傾斜を体感しまし  
た。環境保全に配慮したコースの設計や安心安  
全なトヨタ自動車の車両開発姿勢が分かる見学  
会となりました。

## お知らせ

### 市外利用者割増料金制度開始のご案内

交流館の部屋使用料について令和6年4月1日  
利用分から以下の通り変更になります。

#### ●割増料金/利用料×2倍

豊田市公共施設予約システムの団体住所(個人  
アカウントの場合は代表者住所)が市外の住所  
の方が対象

### ロビー展示 自主グループ 手編みサークル

令和6年1月7日~1月26日まで

### 自主グループ 下山囲碁・将棋クラブ

11/4 囲碁 秋の大会

優勝 和出孝之さん

### 年末年始の休館

12月28日~令和6年1月4日まで

お米や炭で買ったよ

# 暮らのお金に炭や米

お米や炭で買ったよ

昔、昭和の初め頃まではお百姓のお金、物は物々交換が当たり前だったよ。

行商の魚屋などから塩や味噌を買ったのもお米。大治の製麵所ではうどん粉(小麦粉)を持って行くことで交換したりね。

お米や粉はとても貴重でお金の代わりになったよね。

その頃の燃料といえば炭は貴重は燃料で炭で物々交換をするのも出来たんだよ。

お百姓のお米の収穫は年一回なので、この買物物は代々しき合いのあるお店で「つけ」と言って暮らにまとめてお約束で徳面につけておいてもらって買物をしたんだよ。

そこで暮らに来ると山の父ちゃんはお金の魚子に米や炭を背負って町まで下り、大治や足野のついでに買物したお金の店へ行き米や炭で支払いを済ませると、正月用の新巻鮮や昆布、干物やかまぼこ菓子、時には子どもにおもちやなにかを米や炭の物々交換で買ってくれ、お正月を迎えたんだよ。

現金の要する買物のためには色々な副業(作間かせぎ)をして現金かせぎにもはげただけで、日常生活のほとんどの米や炭時には作物の物々交換で困らなかつた時代があったんだよ。

